

第9章 国際分業の高度化と日本の選択

1. 世界経済の概観

日本の世界に占める位置

- ・人口は()%に満たない
- ・GDPは約()%
- ・1人当たり名目GDP 「失われた10年」を経ても高い水準で豊かである

2. 強まる経済の相互依存

(1) 成長率でみた世界経済

世界経済の相互依存性

通貨危機 アジア通貨危機

(2) モジュール化

製品の特徴

()型 ... パソコン

一体()型 ... 自動車

世界経済の相互依存が深まった1つの要因

3. 中国の躍進をどうみるか

(1) 歴史を振り返る

中国の大躍進 改革開放政策が大きい

(2) 中国経済の強さと弱さ

強さ

労働力()で()

都市部と農村部で経済的な格差が一因

弱さ

生産力増大の決め手となる()が自律的に起こる状態でない

沿海部と農村部の所得の格差

(3) 元切り上げへの考え方

「世界の工場」 中国の通貨である元の安さ
国内経済問題による元切り上げの遅れ
2005 年元切り上げ実施

4 . 広範化する FTA と日本の対応の遅れ

() (FTA) ... 2 国間又は複数国間で関税引き下げなどを
中心とした貿易自由化を進めるもの

日本の FTA への遅れ

農業交渉の遅れが FTA 締結を遅らせている

アジアにおける地域金融協会の可能性

(1) EU の挑戦

通貨統合のメリット	貿易の進展
デメリット	金融政策の自由度が失われる

(2) 2 度の挫折

1990 年末

マレーシアのマハティール首相が唱えた東アジア経済グループ
米国やオーストラリアから反対され、東アジア経済協議体と名前を変
えたものの成立しなかった

1997 年のアジア通貨危機以降、

通貨基金構想

アジア各国では通貨安定の重要性が認識

2000 年 5 月

ASIAN+3 で、チェンマイ・イニシアチブという合意

アジア債権市場の育成

成立すればアジア地域での資金の流れがよりスムーズになる

キーワード

国際収支 空洞化 世界の工場 アジア通貨危機